

【別紙3】アンケート結果(宿泊税導入に係る懸念)

分類	区分	意見
懸念・課題	エリア間の公平性	公平に使われるか、特定のエリアのみ優遇されないか
		地区別にやりたいことが違うので、集まった税額に応じて地区の事業に使えるようにしてほしい。それが4つの視点をクリアにする。
		各地域に平等に税金が使われるかが懸念される
		宿泊税導入については反対ではありませんが、三俣・三国地区の地域住民や宿泊者にこの税が使われて還元できるのか不安です
		説明会での話を聞いても三俣・三国地区に恩恵があるとは思えなかった。
		町内(町民)全域で公平な恩恵を受けられるか。
		宿泊税の使途ですが、街中ばかりではなく、三国地区にも使ってほしい。たとえば、旧グランドの水はけの設備とか、国道を桜並木にするとか…
	県税との調整	・県の宿泊税がはじまったとき、町と県とどういうふうになっていくのか心配
	公平な課税・違反者対応	民泊との関係
		キャンプ場内には持ち込みキャンプサイトと常設のキャンプサイトがある。持ち込みサイトは宿泊税がかからず、常設のキャンプサイトはかかるなど、同じキャンプ場内にいるのに税金がかかったり、かからなかったり不公平感を抱かせるリスクがある(私たちは宿泊税に関して持ち込みサイトはかからない、常設テントはかかると考えているが、それに相違がないかの確認がしたいです)
		外国人などが経営している民泊も必ず徴収できるようにしてほしい
		外国人企業などの違法(民泊)宿からも徴収ができるか。
		公正公平な課税と職員体制の確立
	事業者の負担	宿泊税の記録、管理や申告の納入に関する事務作業が煩雑なものでないか懸念があります。
		・導入を契機に小規模零細事業でも会計システムや電子納付が進むように
		その為に、お客様のなかに受入れがたい人がいたとき
		チェックインの支払い時に説明するのが面倒。事前決済で現地支払いが入湯税だけだと現金払いが多くとも、プラス宿泊税だとクレジットカード払いが増えると思う。手数料がバカにならない。
		・手間の問題、報告・申請・納税、お客様の支払い方法含めどのようになるか
		①宿の負担
		徴収する事業者側の負担
		・宿泊税を宿泊料金に組み入れるとエージェント手数料等も増える可能性もある
		・宿に負担が増えないような徴収の仕方を考えてほしい
		支払い対応や税の徴収が複雑になりオペレーションの質が落ちること。宿泊税を理解しない外国人とのトラブル
		事業者が高齢化していく中で負担が大きい。報償金を出すからいいという話ではない。
		町と県の徴収課税者に違いがある場合、県の対象者分の税金は事業者が県に納めなくてはならないのか。できれば町の課税対象者の徴収から県への納付にしてほしい。
		・人手不足のなか、宿泊税をいつ、どのように納入していくのか
		・税収入があがらないので導入は仕方ないかと。入湯税と宿泊税の申告の一本化、1か月1枚で済ませたい。

【別紙3】アンケート結果(宿泊税導入に係る懸念)

分類	区分	意見
		・宿泊施設に税の徴収を負担させるのではなく、町職員自ら出向いて観光客から徴収する方法を検討すべき。
		・宿泊者と直接対面する機会が少なく、説明の機会がないため、円滑な説明が難しい
		・OTAで表示される宿泊料金の総額とは別に宿泊税を徴収する場合にトラブルが増加されること
		・OTA予約のような総額表示だと事業者が「宿泊者から預かった税金を納付している」という実感が持ちにくく、宿泊事業者にとっては税負担や事務負担のように感じられ、納得感が得にくい。小規模事業者は様々な負担が増加するが、負担軽減策が示されていないことに不安を感じる。
		・住宅宿泊事業においては、住宅宿泊事業者であるオーナーが管理委託を行っているケースが多いが、オーナー自身が宿泊税の手続きを適切に行うことは難しいのではないかと。管理会社の立場としても不安があり、制度設計にあたっては考慮していただきたい。
	使途の納得感	既存の設備等の偏った物に使われないこと。宿泊者のためにならないことに使われないこと。
		観光客誘客のための税金として欲しい。町内の防犯カメラ設置。明細の可視化。
		観光・宿泊に直接関係する事柄のみに使用していただきたいです。
		・宿泊税がお客様の満足に繋がるものなのか
		宿泊客が納得できる内容であること
		・宿泊税を支払う側、受け取り納める側が納得いくような形で開始していただきたい。最初のうちは目に見えて分からないのは仕方ないですが継続していくうえで見える変化、結果を見せなくてはいけないと思います(三国地内において)
		(宿泊者への恩恵)宿泊税の目的が明確でない段階での導入反対です。税を支払うお客様の満足度を重視する(インバウンドだけでなく国内のリピーター常連客が来町し続けてくれる様)
		・入湯税や宿泊税は目的税であるため、具体的な政策目標と、そのための施策、必要経費の見込みを明確に示すことが前提になります。
	宿泊以外の課税検討	町は宿泊税だけでなく、一般に広く来町される方たちから観光税などをいただけるように考えてほしい。
		宿泊税だけでなくリフト券に観光税を導入してください。
		・宿泊税導入の次はスキー場(入域)税導入の検討をしてください
		観光客の対応などに宿泊税を導入するのであれば観光客相手のレンタルスキー屋、飲食、お土産屋、観光客全てに関わっているところにも税金を払ってほしい
		宿泊者のみの徴収に不公平感を感じるため
		・宿泊客のみに頼らず、飲食店・物販店等の利用客からも徴収可能な税制を検討するべきであると考えます。
		a.宿泊案系にのみ特化しているが、ぎりぎりの所で踏ん張っている宿泊事業者も少なくない。
		C.尚、宿泊事業者だけが対象と言うのも大いに疑問である。税の公平性の観点からも他の業種(レンタル業者・お土産屋・食堂・スキー場利用者等々)も対象に考えるべきと考える。等しく納税し、等しく恩恵を受けることがベターです。これを無視してはいけない。
		・宿泊者のみに課税するのではなく、町外からの来訪者全体からの集金方法を検討すべき。例えばJRの運賃への上乗せ、関越自動車道の料金への上乗せなど。
		・宿泊税導入後の定期的な検証・見直しを要望する
	宿泊税制度の継続的な見直し	

【別紙3】アンケート結果(宿泊税導入に係る懸念)

分類	区分	意見
	宿泊税導入 自体への懸念	観光に繋がる事に使用してほしい。宿泊税を取ることによって客足が遠のかない様に。
		観光客の減少(グリーンシーズン)
		今以上に値上げするのは困ります。ずっと来ていただいている人達に申し訳ないという思いです。
		国内のスキーのお客さんが減っているなか、宿泊税導入でどうなるか
		・日帰りの増加 ・宿泊施設側の負担 ・観光客離れ
		③お客様からの心理抵抗により客数が減る
		・導入が決定すると入湯税+宿泊税となることによってお客様の負担が大きくなり金額面でも宿泊費アップについては、リーズナブルを求める当館のお客様のニーズには今後選んでいただけるか不安です。高付加価値がすべてではなく、リーズナブルかつ付加価値ニーズがあることもご理解いただきたい。
		増々旅行の費用がかさむことによって消費マインドの低下を招く
		シーズン何度も利用されるお客様が来るたびに徴収された場合納得してくれるのか。それでも近年多様な物価高でスキー・ボードは高額なレジャーとなっているので日本人のお客様がより離れていくのでは
		シニア層が多いのでお客様の負担増により延泊利用が減ることになるのでは懸念ある
		・宿泊税の使途 ・インバウンド需要の伸びで観光客が利用するサービス維持費を住民税・固定資産税でまかなえない分を旅行者に負担させる発想だが大都市とは大きく異なる湯沢町ではフィットしないのではと考える
		基本的には反対です。役場側女性担当者様が例としてアメリカ・パリなども宿泊税を取っていると話しましたが、湯沢町とはレベルが違いすぎます。例に出すのは比較にもなりません。三国地区は人も歩いていません。一般会計から出す努力をなさっているのでしょうか？
		・入湯税や宿泊税は、価格競争力の低下が懸念されるため、料金の上昇に見合った価値の創造が必須です。
		・宿泊者の減少
		・海外や、国内の他地域と湯沢町とでは宿泊者の構成が大きく異なるため、宿泊税に対する理解や需要度が必ずしも高いとは言えないことから、湯沢町の宿泊者の属性を踏まえた調査・分析が必要ではないか。
	スケジュール	お客様に事前に宿泊税が周知されるのかどうか(インバウンドなど)。いつからどのように告知するのか(現地に來てからのトラブル回避とともに導入前のかけこみ予約による混乱を回避できるのか)。
	透明性の確保	適正に使われるか、集客につながる様な使い方をしてほしい
		使い道が分からない
		税使用の透明化が必要。宿泊観光事業関連以外への使用の懸念
		②税収の流用(使途の透明性)
		宿泊税は①だれが②何の為に③どのように執行されるのかを事業者や住民が理解し、具体的なアクションにつなげられるものでなければならない
		宿泊税が何に使われたか毎年公表してほしい。また、何に使うか固定化しないで見直してほしい。
		使途明記
		何に使用してるかわからなくなること、公平でなくなること、導入後におかしいと思った際に議論できる場がなくなること

【別紙3】アンケート結果(宿泊税導入に係る懸念)

分類	区分	意見
		使い道が適正に使われるか？ 宿泊税の使途について各事業者がしっかりと意見を述べられる窓口があるか(こちらに対しての結果、採用・不採用の理由がもらえるかどうか)。また使途の決定についての透明性の確保。
	入湯税に対する意見	宿泊料金が上がるのでお客様が減るのでは。会津では入湯税が高いです。入湯税を上げてみてはどうですか？
使途の検討	使途の考え方	成長への投資がなされないことで、増額、増額を繰り返すこと
	使途の提案	民宿・民泊に素泊まりの宿が多く、湯沢地内の食事をする場所が少なく、大規模飲食事業者を誘致して、食事難民が無いように対策してほしい
制度設計	課税方法	・冬季のみの課税の方が納得感が高まるのではないかな。
	事業者負担軽減	お客様が非現金決済をした場合の手数料分は事業者が負担しているので、その点を考慮してほしい。R9年の秋からの導入を強く希望します。オンライン納税の仕方をもっと簡単にしてください(入湯税も含む) 宿泊税の金額(宿泊料金とは別に入湯税150円、宿泊税150円あたりが良い)導入に伴うシステム改修・対応の補助金が出るとありがたいです。
	税率・税額	導入している他県と同等か低額にしてほしい 定額か定率か 金額が高いと宿泊客様も考えると思いますが、少なければ特に心配ないと思います。
		10,000円以下-100円／10,000～15,000円-150円／15,000円～20,000円-200円／20,000円～30,000円-300円／30,000円以上-500円
その他	その他	b,宿泊事業者の規模にも大きな開きがあり、定額制は合わないと考える。かといって、定率制は、夫婦だけで細々と営業している様な零細民宿等では人的に対応が難しい。したがって、どうしても導入するなら段階的定額制を選択する以外に無い。
		賢く使っていただければ 大いに我々の意見に対する対応を早く反映していただきたい。 税収がたくさんあった時代につくった町の施設を税収が少なくなった今も同じように維持していくのは難しいと思います。今ある施設はもちろんあったほうが便利でしょうが、収支があまりにも合わないところは思い切って削減することも考えなくてはならないのでしょうか？支出を減らさずに税収が足りないからと宿泊税を導入することは反対です。 三国地区に向かう国道の整備状況が悪く、それらを整備してからそれにかかった費用を来訪者から負担していただく方法を考えるべき。